

立命館・UBC GATE-EDI プログラム 立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」

募集要項

※ 募集要項の内容に修正があった場合は、最新版をホームページに掲載します。

▶ International applicants must refer to Section 3, "Notes for International Applicants" on page 3.

プログラム・コース名 派遣期間（日本発着）				国（研修言語・要件） 都市	単位 （認定単位は、学部や受講科目による）
長期留学	立命館・UBC GATE-EDI			カナダ（英語要件有） バンクーバー	授与：8 単位または12単位 認定：最大20単位
2027/08/下旬～	2028/04/下旬	約8ヶ月	60名	寮	
長期留学	立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」			カナダ（英語要件有） エドモントン	授与：16単位 ※ 別途認定単位あり
2027/08/下旬～	2028/04/下旬	約8ヶ月	15名	寮	



◆問い合わせ（電話・窓口対応は 平日 9:00～17:00）

▶ 本要項・応募方法	📞 077-561-4881 立命館留学サポートデスク
▶ プログラム内容	📞 075-465-8229 立命館大学 国際教育センター（衣笠・明学館 1 階）
▶ リクエストフォーム による問い合わせ	 ▶ 対面相談：交換留学・短期・1 セメスター等を含め、全学募集の 留学プログラムに関して対面の相談は、各キャンパス国際教育センター窓口へ

目 次	1. 本要項掲載留学プログラムの特徴	・・・	p.1
	2. 応募前の確認事項	・・・	p.2
	3. 外国籍応募者への留意点	・・・	p.3
	4. 応募から合格までのスケジュール	・・・	p.4～5
	5. 合格から出発までのスケジュール	・・・	p.6
	6. 応募方法と留意事項	・・・	p.7
	7. 選考・合格発表	・・・	p.8
	8. 応募書類について	・・・	p.9～12
	9. プログラム情報「UBC GATE-EDI」	・・・	p.13～19
	10. プログラム情報「アルバータ大学」	・・・	p.20～22
	11. 奨学金	・・・	p.23
	12. 学籍と履修についての留意事項	・・・	p.24
	13. 留学プログラム参加に関する承諾事項	・・・	p.25～27

1. 本要項掲載留学プログラムの特徴

1) 経済的支援と参加しやすい費用の追求

本学から参加者全員に、海外留学を奨励するための奨学金（返済不要）を準備しています。

また、留学先大学が運営するプログラムを、仲介業者を介さずに手配し、複数の旅行会社を比較検討して航空便を手配することで、費用負担を軽減しています。

※ 費用負担軽減の観点から、引率教員や添乗員は同行しません。

2) 単位授与・学籍

留学先大学で授業を履修することで、受講内容に応じた単位が授与、又は認定されます。また、2027 年度秋学期、2028 年度春学期の学籍が「留学」となり、標準修業年限内での卒業が可能です。学籍「留学」の詳細：https://www.ritsumei.ac.jp/pathways-future/student_registry/study_abroad.html/

3) 渡航手続きのサポート

留学先大学への就学や渡航に関して必要な手続きはガイダンスなどで案内・サポートすることで長期の海外留学が初めての方も、比較的安心して参加することができます。

4) 危機管理

留学先の地域で事件や災害などが発生した際、学生の安否確認や保護者への情報共有を行い、留学中の参加者個別のトラブルに 24 時間対応する相談窓口システムを構築しています。

また参加者全員に、大学で包括契約をしている海外旅行保険の加入を義務付けています。

2. 応募前の確認事項

合格すると、立命館大学の「**正規の留学生**」として留学プログラムに参加することになります。なお、参加にあたっては、本要項 p.25～27「**13. 留学プログラム参加に関する承諾事項**」を理解し、遵守することが条件です。

これまでに、承諾事項の理解が不十分で、合格後に取消料を支払って辞退したケースも発生しています。特に重要なポイントを以下に記載しますので、必ず確認してから応募してください。

1) 応募資格を有し、心身ともに留学できる状態であること

持病や精神面での不安がある場合は、事前に必ず主治医に相談して応募（留学参加）の承諾を得てください。また必要に応じて、国際教育センター、又は留学サポートデスクへ健康状態に関して申し出てください。

（保健センターや学生サポートルームに相談している場合でも、本人からの依頼がないと情報共有はされません。）

適切なタイミングで、事務局へ健康状態に関する共有が無いことにより発生する不利益は、自己責任となります。

- ※ 出発年度の「定期健康診断」を受診することが、参加条件となります。必ず受診してください。
- ※ 応募資格についてはコース別情報内の「応募要件」を参照してください。

2) 父母等の費用負担者へ、応募（参加）に関して承諾を得ていること

合格後の自己都合による辞退は認められません。父母等の理解を得ないまま応募して、合格後トラブルになるケースが発生しています。「プログラム内容」「留学費用や支払時期」「参加に関する承諾事項」「必要な手続」などについて事前に情報共有のうえ、明確な応募（参加）の承諾を得てください。

- ※ 自己都合の辞退は、その理由により次回以降の全学募集留学プログラムの応募に不利に働く場合があります。
- ※ 1次納付金（申込金）の納入期限である 2月18日（木）15：00以降の辞退は、原則として認められません。やむを得ない事情により参加できなくなった場合であっても、協定校への納付金、航空券、宿舎費等の手配状況によっては、2次納付金・3次納付金を含む留学に係る費用の全部または一部を負担していただく場合があります。

3) ガイダンスや講義へ出席し、各種手続きを滞りなく行えること

指定されたガイダンスや講義には必ず出席してください。（p.4～6 のスケジュールを参照）

体調不良などを含め、欠席した場合は、別途参加条件として個別面談や課題を設定する場合があります。

また、各種手続きにおいて、確認不足や怠慢などで著しい不備や遅延が続く場合や、参加者が必要な連絡を確認しなかった場合には、所定の手順に沿って留学資格を取り消し、取消料を負担していただきます。

- ※ パスポート未取得者は、合格にあわせて速やかに取得手続きをしてください。

4) 応募するプログラム・コースについて必要な情報を確認すること

本要項や、海外留学プログラムホームページ等により、コースの内容・情報を十分に確認してください。

また、留学期間に、外せないクラブやサークルの行事・就職活動・私的な用事等が重なっていないことを前提とします。渡航先のビザ取得や指定された予防接種が必要なコースは、手続きやリスクを承諾したうえで応募してください。

- ※ 日本国籍を持たない、外国籍学生は p.3「**3. 外国籍応募者への留意点**」を必ず確認して、応募してください。
- ※ 本要項掲載プログラムへ応募する際は、留学によって自身の履修計画・卒業へ影響がないか、必ず事前に学部事務室（OIC は学びステーション）で相談してください。

3. 外国籍応募者への留意点 “Notes for International Applicants”

▶ Application Guideline Comprehension

Because the application guidelines are written only in Japanese, you must thoroughly understand the contents before submitting your application. Any disadvantages caused by a failure to understand the guidelines will be the sole responsibility of the applicant.

- ▶ 募集要項は日本語でのみ記載されているため、応募前に内容を徹底的に理解する必要があります。理解不足のまま応募することにより生じた不利益は、すべて応募者自身の責任となります。
- ▶ 国費外国人留学生制度の対象者は、国際教育センターの国費留学担当者へ応募可否を確認してください。
- ▶ 奨学金を受給している留学生は、奨学金の支給団体に応募可否を確認してください。
- ▶ カナダへの留学（6 ヶ月超）にあたり、就学許可証（Study Permit）の取得が必要です。

日本国籍の学生は、大学が指定する代行申請会社を通じて一括申請を行いますが、外国籍の学生は、各国の査証発給要件や代行申請会社の取扱い基準により、代行申請会社のサポート対象外となるため、原則としてすべて自己責任において個人で申請を行う必要があります。

【大学によるサポートについて】

留学先（協定校）から発行される入学許可書など、ビザ申請に不可欠な必要書類の取り寄せや、学内での書類発行手続きについては、大学が責任を持ってサポートを行います。

【特に留意すべきリスク】

就学許可証の発給可否はすべてカナダ移民局の判断となります。特に外国籍の学生に対する審査は、非常に厳格に行われる場合があり、結果が出るまでに出発日は考慮されず数ヶ月以上を要するケースや、発給が拒否されるリスクが、日本国籍の学生と比べて大幅に高くなります。

本プログラムへは、以下のリスクを十分に理解・承知した上でのみ応募してください。

就学許可証不発給のリスク：審査の結果、就学許可証が発給されず留学に参加できなくなる場合があります。留学に参加できないことで発生する取消料（実費）は自己負担となります。

出発遅延・追加費用のリスク：出発までに発給が間に合わない場合、航空券の変更等に伴う高額な追加費用はすべて自己負担となります（発給され次第、遅れて出発することになります）。

カナダ移民局による審査結果や遅延、それに伴う不利益について、大学は一切の責任を負うことが出来ません。

【参考】合格後の海外送金による費用納入について

合格した場合、決められたスケジュールに従って、納付金を支払っていただきますが、留学生の場合、海外送金による納入ケースが想定されます。

海外送金においては海外の送金側金融機関の手数料とは別に、日本国内の受取側金融機関による手数料が必要になり、海外にて指定の金額を送金した場合でも、受取側金融機関による手数料が差し引かれて、ほとんどのケースで、差額 4～5 千円の追加振込が必要になっていますので、十分ご注意ください。

4. 応募から合格までのスケジュール

1) 募集説明会（オンライン開催・録画の上後日データも公開します。）

プログラムの説明および質疑応答を行います。プログラムに参加した先輩学生の体験談もお届けする予定です。

（現時点で決定しているもののみを記載しています。追加で実施する場合は、STUDENT PORTAL 等でお知らせします。）

アルバータ大学	10/1（木） 16:40～17:40 https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/j/88939856014	
UBC GATE-EDI	10/2（金） 16:40～17:40 https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/j/89030026223	

事前予約は不要です。当日、時間になりましたら上記 URL または QR コードにアクセスしてください。

2) 応募スケジュール

応募期間は 1 次・2 次・3 次の 3 回設定しています。

※1 次募集の応募期間までに応募要件が揃わない場合は、2 次・3 次募集に応募してください。

※1 次・2 次募集で不合格だった場合は、2 次・3 次募集に再応募することもできます。

【1 次募集】

応募期間	10/7（水） 10:00～ 10/9（金） 17:00 ▶p.7「6. 応募方法と留意事項」参照
面接対象者通知	10/27（火）STUDENT PORTAL にて配信 ▶ 選考委員が面接を必要と判断した方に、お知らせします。
面接選考期間 ※ 対象者のみ	10/28（水）～ 10/30（金）の間 オンライン実施 ▶ 期間中の平日に面接を実施します。
合格発表	11/11（水） 13:00 STUDENT PORTAL にて配信 ▶p.8「7. 選考・合格発表」参照
合格者ガイダンス ①	11/12（木） 18:30～19:30 ▶ 申込金納入、および留学に必要な手続きなど案内

【2 次募集】

応募期間	11/24（火） 10:00～ 11/26（木） 17:00 ▶p.7「6. 応募方法と留意事項」参照
面接対象者通知	12/9（水）STUDENT PORTAL にて配信 ▶ 選考委員が面接を必要と判断した方に、お知らせします。

面接選考期間	12/10（木）～ 12/14（月）の間 オンライン実施（対象者のみ） ▶ 期間中の平日に面接を実施します。
合格者発表	12/23（水） 13:00 STUDENT PORTAL にて配信 ▶ p.8「7. 選考・合格発表」参照
合格者ガイダンス①	12/24（木） 18:30～19:30 ▶ 申込金納入、および留学に必要な手続きなど案内

【3 次募集】

応募期間	1/12（火） 10:00～ 1/14（木） 17:00 ▶ p.7「6. 応募方法と留意事項」参照
面接対象者通知	1/27（水） STUDENT PORTAL にて配信 ▶ 選考委員が面接を必要と判断した方に、お知らせします。
面接選考期間	1/28（木）～ 1/29（金）の間 オンライン実施（対象者のみ） ▶ 期間中の平日に面接を実施します。
合格者発表	2/10（水） 13:00 STUDENT PORTAL にて配信 ▶ p.8「7. 選考・合格発表」参照
合格者ガイダンス①	2/12（金） 13:30～14:30 ▶ 申込金納入、および留学に必要な手続きなど案内

5. 合格から出発までのスケジュール（1次・2次・3次募集 共通）

- ・合格者への案内は moodle+R のコースニュースから行います。時間の詳細や必要な情報を案内しますので、必ず毎日確認するようにしてください。
- ・自分に関わるスケジュールをスマートフォンや手帳等でしっかり管理し、忘れないように対応してください。

合格者ガイダンス ②	2027/ 2/ 12（金） 15：00 オンライン実施 ▶ 学内手続（提出書類）の説明など
学内手続必要書類 提出期限	オンライン提出 ▶ 期限厳守。提出期限詳細は合格者ガイダンス②にて案内します。
1次納付金納入期限	2/18（木） 15:00 ▶ p.15、p.22 各プログラム情報の「参加費用の支払い時期について」を参照。
カナダビザガイダンス	2027/ 3 月 オンライン実施 ▶ カナダビザの取得手続きに関する説明
参加者ガイダンス ①	2027/ 3 月下旬 平日開催・対面実施 ▶ プログラムに関連する各種手続きなどの説明
参加者ガイダンス ②	2027/ 5 月中旬 休日開催・対面実施 ▶ プログラムに関連する各種手続きなどの説明・UBC は2次納付金の案内
2次納付金納入期限 ※ UBC のみ	2027/ 6 月上旬 ※ 詳細は 参加者ガイダンス② で案内 ▶ p.15 プログラム情報の「参加費用の支払い時期について」を参照
保健センターガイダンス	2027/ 6 月（予定）オンライン実施
留学届提出	2027/ 6 月下旬まで ▶ 学部事務室（OIC は学びステーション）への留学申請手続き。
危機管理ガイダンス	2027/ 7 月（予定）オンライン実施
参加者ガイダンス ③	2027/ 7 月中旬 休日開催・対面実施 ▶ 出発当日集合・利用航空便・持参荷物・現地事情などに関する案内 など
3次納付金納入期限	2027/ 7 月下旬 ▶ p.15、p.22 各プログラム情報の「参加費用の支払い時期について」を参照。
渡航	2027/ 8 月中旬～9 月上旬

6. 応募方法と留意事項

1) 応募方法

応募フォーム（募集要項）掲載ホームページ URL : <https://x.gd/7dPMt>



- ▶ p.9「8. 応募書類について」を参照して応募書類を作成し、指定されたファイル名でパソコンに保存してから応募してください。（応募フォーム内指定箇所に、PDF でアップロードして提出）
 - ▶ 応募フォームには、学内アカウントでアクセスしてください。
 - ▶ 応募フォームの送信は1回限りで、取り消し・修正はできません。
 - ▶ 必要事項を入力し、入力内容・提出書類を確認のうえ、送信ボタンを押して応募を完了してください。
- ※ 送信時「☐ 自分の回答についての確認メールを受け取る」にチェックすると確認メールが受け取れます。
- ▶ 応募時にパスポートは必要ありませんが、有効なパスポートを持っていない方は、自分でパスポート取得・更新方法を確認して、必要書類（戸籍謄本取得など）の準備を進めておいてください。

- 応募期間（時間）内のみ応募フォームにアクセスすることができます。
- 受付最終日はアクセスが集中して繋がりにくくなる可能性があります。ネットワーク環境の不具合等、いかなる理由であっても、応募期間終了後の受付はいたしません。余裕をもって早めに応募してください。

2) 応募時の Web 環境

応募にあたっては、パソコンの利用を推奨します。

- ・ mac の場合、ブラウザは Chrome を利用してください。

推奨環境以外の端末・OS・ブラウザ(LINE ブラウザなど)を使用するとエラーになる場合があります。

推奨環境はこちらから確認してください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=365458>



3) 併願応募について

- ▶ 「交換留学プログラム」「UBC GATE-EDI プログラム」「アルバータ大学プログラム」は併願応募が可能です。
 - 例) UBC GATE-EDI プログラム第一志望、交換留学プログラム第二志望で応募し、両方に合格した場合
→UBC GATE-EDI プログラムへの派遣が内定します。
- ▶ 「交換留学プログラム」「UBC GATE-EDI プログラム」「アルバータ大学プログラム」のいずれかの留学プログラムへの派遣が内定している場合、その後別のプログラムへの応募はできません（事前に辞退していれば可）。
 - 例) 1 次募集で UBC GATE-EDI プログラムへの派遣が内定したが、その後気が変わり、辞退届を提出せずに交換留学プログラムの 2 次募集に応募する→ NG
 - 例) 1 次募集で交換留学プログラムに応募したが不合格だったため、2 次募集で第一志望交換留学プログラム、第二志望 UBC-GATE EDI プログラムに応募する→ OK
 - 例) 1 次募集で UBC-GATE EDI プログラムに合格したが、その後語学スコアが向上したため、2 次募集で交換留学プログラムに応募する→ 2 次募集応募期間前日 17 : 00 までに辞退届を提出すれば応募可。3 次募集の場合も同様に、3 次募集応募期間前日 17 : 00 までに辞退届を提出すれば応募可。
- ▶ 本紙掲載プログラムと、2026 年度 春期出発 短期留学（2027 年 2～3 月実施）の両方に応募することはできませんが、1 セメスター留学（2027 年 3～4 月出発）との併願はできません。

7. 選考・合格発表

1) 選考基準

▶ 書類選考：応募レポートより ①～⑤を確認。

- ①留学動機の明確さ・説得性 ②学びたいテーマもしくは科目の明確さ・説得性
- ③授業以外の取組に関して理由の明確さ ④帰国後の学修計画またはキャリアプランの明確さ・説得性
- ⑤研修言語の語学力（設問2）

▶ 面接選考：原則、書類選考で可否を判定しますが、担当教員が面接の必要があると判断した応募者には、オンライン面接を実施し、志望理由や、本学でのこれまでの学習状況などを確認して可否を判定します。面接対象者には、p.4～5 の応募スケジュールに記載の「面接対象者通知」の日に STUDENT PORTAL より連絡します。

2) 合格発表

p.4～5 応募スケジュールに記載の合格発表日に、STUDENT PORTAL にてお知らせします。

▶ 合格者は、1 次・2 次・3 次それぞれの募集に対して行われる「合格者ガイダンス①（オンライン）」に必ず出席してください。

3) 合格発表の確認方法

STUDENT PORTAL のお知らせ機能から、タブ「DM」による 個人宛のお知らせ（ダイレクトメッセージ）より件名：【合格発表】2027 年度夏期 長期（UBC GATE-EDI）又は（アルバータ大学）にて確認

【STUDENT PORTAL お知らせ機能ガイド】 <https://www.ritsumeai.ac.jp/rsp/assets/file/information-jp.pdf>

【PC】



STUDENT PORTAL ログイン後に、アプリメニューにある「お知らせ」をクリック（タップ）して一覧を表示させ、「DM」のタブから確認してください。

【スマホアプリ】



お知らせ一覧画面が表示されます。届いたお知らせはタブごとに整理されて表示されます。

【PC】

【スマホアプリ】



8. 応募書類について（1/4） 応募書類は a～e の 5 種類が必要です。

1) 応募書類 a： 応募レポート（併願の場合は応募コースごと作成、各 A4×2 枚まで）

- ▶ 募集要項掲載ページ <https://x.gd/n9WskL> の応募レポートをダウンロードして作成してください。

【設問 1】「以下 4 項目をすべて記述」（日本語で作成）

- ① 留学の動機、獲得目標（「語学力の向上」以外の内容にて記述）
- ② 留学中に学びたいテーマ、もしくは科目
- ③ 留学中に、授業以外において取り組みたいこと
- ④ 留学終了後の学修計画、又は進路・就職計画



【設問 2】「留学に向けた準備（学習面・それ以外の両方を含めて）について記述」（英語で作成）

- ▶ 指定ファイル名：「a（志望順位）_（学生証番号 11 桁）」

※ 例：学生証番号が 12345678910 で、第 1 志望コースのレポート → 「a1_12345678910」

2) 応募書類 b・c・d： 学内成績に関する証明書類

- ▶ p.11～12 を参照して、3 種類の証明書類を PDF データにて作成してください。
- ▶ それぞれ、以下のファイル名をつけて応募フォーム内の指定箇所へアップロードしてください。

【 b. CAMPUS WEB：履修状況一覧】 → 「b_（学生証番号 11 桁）」

【 c. CAMPUS WEB：科目一覧】 → 「c_（学生証番号 11 桁）」

【 d. CAMPUS WEB：GPA 一覧】 → 「d_（学生証番号 11 桁）」

※ アルバータ大学の成績応募要件は累積 GPA 3.0 以上です。（UBC には成績の応募要件はありません。）

3) 応募書類 e： 語学力を証明する書類（語学スコア）

- ▶ 本要項掲載プログラムへの応募には、語学力を証明する書類の提出が必要です。
- 各プログラム情報に記載されている**指定語学要件以上の証明書を提出してください。**

【両プログラム共通注意事項】

- ※ IELTS テストは、IELTS Academic の公式の認定スコア（ペーパー版&Computer delivered IELTS）のみを採用します。また、One Skill Retake で取得したスコアは受付不可です。
- ※ TOEFL-iBT®テストは、Test Date スコアのみを採用します。
- My Best®スコア、Home Edition（旧称：Special Home Edition）は採用しません。
- ▶ 証明書は全体（氏名、スコア、受験日等）が明確に判別できるものに限り、ます。
- 複数ある場合は語学要件を満たしている最良のスコアを提出してください。
- 期限がある証明書は、「期限内」のものを提出してください。（例：TOEFL®のスコア有効期限は 2 年）
- 文字が不鮮明な場合などは、提出書類として認められない可能性があります。
- ▶ 指定ファイル名：「e_（学生証番号 11 桁）」

8. 応募書類について（2/4）

4) 応募書類のファイル形式について

- ▶ 応募書類は、原則 PDF ファイルでアップロードしてください。

PDF は印刷ページをデータで保存するファイル形式で、使用環境にかかわらず、誰もが同じ状態で確認できる、いわば「印刷文化を継承する電子的な紙」です。PC に専用ソフトがインストールされていない場合は、Adobe 社の無料ソフト「Adobe Reader」をダウンロードして使用してください。

◆ Adobe 社ダウンロードサイト : <https://get.adobe.com/jp/reader/>

- ▶ Word 等のレポートを PDF 変換するには、一般的に印刷画面からプリンターで PDF 変換を選択します。
- ▶ 語学力を証明する紙の書類を PDF に変換する場合は、以下の方法があります。

① 各キャンパスに設置されているスキャナーを利用してデータ保存

◆ スキャナーの利用について : <https://it.support.ritsumeai.ac.jp/hc/ja/articles/4402972352921>

【設置場所】 ◆ 衣笠 : 立命館大学図書館・ぴあら

◆ OIC : ICT-Lab.PC スペース

◆ BKC : マルチメディアルーム (MMR) ・メディアセンター・プリズムハウス

② コンビニエンスストアのコピー複合機（マルチコピー機）を利用してデータ保存

使用方法是コンビニによって異なりますが、基本的には USB メモリーを準備して、スキャンしたデータを USB メモリーに保存します。（料金は 1 枚 30 円程度）

- ▶ 応募書類 b・c・d「学内成績に関する証明書類」の PDF データ変換については、次のページを参照してください。

8. 応募書類について（3 / 4）

応募書類 b・c・d 学内成績に関する証明書類は、以下の要領で PDF データに変換してください。

※ スクリーンショットではなく、必ず画面を印刷（PDF 変換）してください。

【印刷のショートカットキー】Windows : 「Ctrl」 + 「P」 / Mac : 「Command⌘」 + 「P」

▶ まずは CAMPUS WEB より履修状況確認（受講登録内容・成績一覧）を選択



▶ 応募書類 b : 「履修状況一覧」の画面を印刷（PDF 変換）してください。

※ 必ず、**閉じる** のマークまで印刷。（2 枚目が、**閉じる** マークのみの場合も 2 枚印刷してください。）

他の 2 つの応募書類

c : 「科目一覧」

d : 「GPA 一覧」

この画面から選択できます。

8. 応募書類について（4 / 4）

▶ 応募書類 c : 「科目一覧」の画面を印刷（PDF 変換）してください。

※ 必ず、**閉じる** のマークまで印刷。（2 枚目が、**閉じる** マークのみの場合も 2 枚印刷してください。）

Account :
Name :

科目一覧
メインカリキュラム（主課程）

学生情報

学生証番号 :
回生 :
所属 :
外国語（第一） :
卒業必要単位 :

氏名 :
現セメスター :
外国語選択種別 :
外国語（第二） :
課程 :

履修状況は以下のとおりです。

（注意）

- 成績評価、修得年度が空欄のものは、受講登録中（抽選科目の場合は申請中も含みます）の科目です。
- 抽選科目の単位数は、申請中は、かつこ付きで表示されます。抽選処理後に受講が許可された場合は、かつこが表示されなくなります。なお、受講が不許可となった場合は、当該科目自体が表示されません。

再読み込み

（全 44 件）

区分	科目名称	クラス	担当者	単位数	成績評価	修得年度	授業公開期間
基礎科目	リテラシー入門Ⅰ	D1	池田 智幸	2	B	2015	春セメスター
基礎科目	リテラシー入門Ⅱ	D1	池田 智幸	2	C	2015	秋セメスター
基礎科目	情報処理入門	LC	鳥木 圭太	2	B	2016	秋セメスター
教養科目	心理学入門	LA	藤 健一	2	C	2015	春セメスター
教養科目	イスラム世界の多様性	L	末近 浩太	2	A	2015	春セメスター

▶ 応募書類 d : 「GPA 一覧」の画面を印刷（PDF 変換）してください。

※ 必ず、**閉じる** のマークまで印刷。（2 枚目が、**閉じる** マークのみの場合も 2 枚印刷してください。）

Account :
Name :

GPA 一覧

学生情報

学生証番号 :
回生 :
所属 :
外国語（第一） :
卒業必要単位 :

氏名 :
現セメスター :
外国語選択種別 :
外国語（第二） :
課程 :

過年度も含めたGPAの値は以下のとおりです。

【GPA算出方法：α/β】

α：5×[A+]修得単位数+4×[A]修得単位数+3×[B]修得単位数+2×[C]修得単位数

β：A+、A、B、C、F評価の合計単位数

※自由科目（卒業要件に算入しない科目）はGPA計算の対象になりません。

年度	学期	学期GPA	累積GPA	算出日
2015	春学期	3.11	3.11	2018/01/10
2015	秋学期	3.75	3.47	2018/01/10
2016	春学期	3.68	3.53	2018/01/10
2016	秋学期	3.67	3.57	2018/01/10
2017	春学期	0.00	3.57	2018/01/10

閉じる

(c) Ritsumeikan Trust. All rights reserved.

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (1/7)

1) 応募要件 (応募には、以下①②を両方満たしている必要があります。)

① 学部生であること

- ※ 情報理工学部生は 1 回生～4 回生のみ応募可
- ※ グローバル教養学部生は学部のカリキュラム上、参加不可

② 以下のいずれかの語学スコアを有していること

- IELTS 4.5 以上
- TOEFL iBT®テスト 3.0 (各セクション 3.0) 以上 (または旧スコア 45 点以上)
- TOEFL ITP®テスト 450 点以上 ※ TOEFL-ITP®テストは、デジタル版も可。
- TOEIC® L&R テスト 550 点以上 ※ TOEIC は、IP テスト、オンライン IP テストでも可。
(Listening・Reading 各 275 点以上)

※ 試験種別が上記と同一であれば、「新入生の英語クラス分けテスト」や「学内英語団体受験」で取得したスコアも使用できます。スコアを紛失した場合は、言語教育センターでスコア照会(無料)し、StudentPortal で通知されたスコアを PDF 変換したものを提出してください。

【スコアレポート照会・再発行について】 <https://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=566983>

※ TOEFL iBT の新スコアで応募する場合、併記されている旧スコアが 45 以上であっても、各セクション 3.0 未満の場合は応募できません。

▶ その他 : GPA の要件はありませんが、選考時の参考資料として応募書類 d (GPA) を使用します。

2) 基本情報

▶ 留学先 : ブリティッシュ・コロンビア大学 (UBC) / カナダ・バンクーバー

▶ 渡航期間 : 2027 年 8 月下旬 ~ 2028 年 4 月下旬 (約 8 ヶ月)

※ 学籍上の「留学」期間 : 2027 年度秋学期 及び 2028 年度春学期

※ Early Arrival プログラムや、サマー・2 年目派遣プログラムの参加により、渡航期間は変更になります。

▶ 募集人数 : 60 名

▶ 渡航手続 : カナダ「就学許可証」(Study Permit) を、ビザ申請代行専門会社を通して取得します。

※ パスポートは、少なくとも 2028 年 6 月上旬以降までの残存有効期間が必要 (原則は帰国日まで)

▶ 留学形態 : カスタム型

※ 留学先大学が立命館大学のために提供するプログラムで、参加者は原則として、立命館大学の学生を中心に編成されたプログラム科目を受講します。1 クラスの人数は、科目により異なりますが、少ないもので 25 名程度、多いもので 50~60 名程度です。

▶ 滞在形態 : 学生寮 (食事なし)

※ Ritsumeikan-UBC House, Fairview Crescent, Walter Gage の 3 つの寮から希望する所に申し込むことができますが、最終的な決定は UBC が行います。

【各寮の写真】 <https://vancouver.housing.ubc.ca/residences-rooms/residences/>

▶ 航空便 : 日本航空 成田-バンクーバー直行便 (予定) 団体手配

※ 基本は成田空港発着ですが、別途、伊丹空港をはじめ国内空港からの接続便も手配します。

※ 往路は、参加者を分割して日を分けて出発する場合があります。

※ 復路は帰国便指定で手配されますが、正規選択科目の受講や、サマー・2 年目派遣プログラムの参加により帰国日が変わる場合は、空き状況に合わせて 1 回のみ変更が可能です。

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (2/7)

3) プログラム概要

立命館・UBC GATE-EDI (Global Awareness & Transformative Education for Equity, Diversity, and Inclusion) プログラムは、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 (UBC) 教育学部の協力のもと、立命館大学の学生に向けて特別に設計されたプログラムです。

1991 年度に第 1 期生が留学して以来、プログラム内容の更新を重ねながら、本学において最も歴史のあるプログラムの一つとして続いています。

グローバル・シチズンシップ、地域社会との関わり、EDI の視点を持ったプロジェクト学修・探究型学修に重点を置いたプログラムで、Term 1 (留学期間前半：9～12 月) では、本プログラムの参加学生とともに双方向型の授業スタイルで講義を受講し、「英語で学び、考える力」を養います。

Term2 (留学期間後半：1～4 月) は、UBC の学生とともに、UBC の正規選択科目を受講することを目指します。なお、語学スコアによっては Term1 から正規選択科目を受講することができます。

4) 留学先大学・都市紹介

UBC バンクーバーキャンパスは、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー市のポイント・グレイ半島西端に位置しています。西側は海に面し、その他の三方は森に囲まれた自然豊かな広大なキャンパスで、その面積は東京ドーム約 85 個分に相当する 400 ヘクタール超を誇ります。一方で、バンクーバー中心部のダウンタウンへは公共交通機関で約 30 分と、都市部へのアクセスにも恵まれています。

また、キャンパスは先住民民族マスキアム族の伝統的な領土に位置し、周辺地域はブリティッシュ・コロンビア州が管理する特別行政区域「University Endowment Lands」の一部となっています。UBC では先住民の歴史や文化を尊重した教育・研究を推進しており、キャンパス内には人類学博物館をはじめ、トーテムポールや先住民の言語に由来する建物名など、文化的な要素が随所に見られます。

UBC は教育・研究の両面において世界的に高い評価を受ける総合研究大学です。英国の教育専門誌 Times Higher Education による世界大学ランキング 2026 では世界 45 位、カナダ国内 3 位にランクインしています。世界各国から学生や研究者が集う国際色豊かな学習環境も大きな特色であり、多様な文化や価値観に触れながら学ぶことができます。また、これまでに 8 名のノーベル賞受賞者や、ジャスティン・トルドー氏を含む 3 名のカナダ首相を輩出しています。

5) Early Arrival プログラム (オプション) について

希望者を対象に、Early Arrival プログラムを実施予定です。このプログラムでは、本プログラムより一足早く 8 月中旬に現地へ出発し、約 2 週間バンクーバー市内でホームステイをしながら語学学校に通い、語学力の向上と現地生活への早期適応を目指します。その後、プログラム開始時に UBC で他の参加者と合流します。

詳細は、3 月下旬の参加者ガイダンス①で案内予定です。

Early Arrival プログラム費用	2026 年度参考
ホームステイ費 (3 食付) ・授業料 ・バンクーバー空港送迎費等	379,000 円

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (3/7)

6) 参加費用 (目安)

▶ 2026 年度参考 250 万円程度

※ 参加者全員が原則受けられる本学支援 (p.23「11.奨学金」2027 年度以降の海外留学に係る奨学金) を差し引いた額です。

7) 参加費用に含まれるもの・含まれないもの

▶ 参加費用に含まれるもの

- ◆ UBC 授業料
- ◆ 寮費 (8 か月)
- ◆ バンクーバー国際空港から UBC までの移動費 (往路)
- ◆ 往復航空運賃 (成田発着の往復、諸税、燃油サーチャージ等含む)
- ◆ その他 (共通の査証代行申請手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 渡航手続き費用は、日本国籍で本学手配にて代行手続き・支払いができる費用のみ含まれています。

▶ 参加費用に含まれないもの (代表例)

- ◆ パスポート取得・更新に関わる費用
- ◆ 海外旅行保険代 (2026 年度参考 標準プラン 8 ヶ月 146,770 円)
- ◆ 自宅～成田空港間の交通費や、集合・解散時間にて各自対応するための国内宿泊費
- ◆ 超過手荷物料金 (手配された各種運送機関で定めた無料受託範囲を超過した場合に、個別にかかる費用)
- ◆ 個人精算が必要な諸手続き費用 (個人での手続きや支払いが必要な渡航手続き費用など)
- ◆ その他、個人にかかる費用: (現地での個人的な活動費用・飲食・日用品・生活雑貨・土産など)

注意 立命館大学の学費は、留学期間も所定の期日までに納入する必要があります。

8) 参加費用の支払い時期について

▶ 参加費用は、3 回に分けて納入していただきます。計画的に準備をしてください。

1 次納付金 (申込金) 2 月中旬納入	▶	1 次納付金は、留学費用に充当されます。	300,000 円
2 次納付金 (UBC 授業料) 5 月中旬案内、6 月上旬納入	▶	UBC 授業料	1,670,690 円 (2026 年度参考)
3 次納付金 (寮費・参加費用残額) 7 月上旬案内、7 月下旬納入	▶	寮費と、その他留学に関わる費用から 1 次納付金を差し引いた額	1,028,132 円 (2026 年度参考)

▶ 参加費用は以下の要素により変動するため、3 次納付金案内時に実費で算出します。

- ▶ 航空運賃、及び航空会社設定の燃油サーチャージ (原油価格により変動、最終費用案内時に確定)
- ▶ 参加人数 ▶ 協定校との調整により発生する必要な内容修正 ▶ 現地通貨の送金時レート

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (4/7)

9) コースの特徴

① 個人のレベルに応じた履修・UBC の正規開講科目が受講できる

このプログラムで受講する授業は、UBC 付属の語学学校ではなく、すべて UBC の正規開講科目であるため、プログラム修了後は UBC の成績証明書が発行されます。世界的に評価の高い UBC の成績証明書を得ることで、進学や就職・転職の際のアピール材料になる可能性があります。

また、語学スコアに応じて、UBC の現地学生とともに正規選択科目（正規授業）を受講することができます。UBC の正規授業に参加することで、現地学生や他国からの留学生とともに学ぶ機会が得られます。

（p.17 「10）カリキュラム」参照）

② キャンパス内の寮で多様性の中で暮らせる

学生寮で、他国からの留学生を含む UBC の学生と共同生活を送ることは、語学力向上につながります。また、異文化交流を通じて、幅広い人間関係を構築することもプログラムの目標の一つです。

カナダの住みやすい都市 No.1 にも選ばれているバンクーバーは、その人気の高さから市中の住宅価格が高騰しています。そのため、学生寮を希望する学生が多く、毎年 5000 人を超える学生が空室待ちリストに登録しています。しかし、このプログラムの参加者には、立命館大学と UBC との長年にわたる協力関係による優遇措置により、寮での滞在が確約されています。

③ プログラム専属の常駐スタッフがサポート

UBC キャンパス内に「立命館 UBC オフィス」があり、プログラム専属の常駐スタッフによるサポートが受けられます。初めて長期留学に挑戦する方でも安心して参加することができます。

④ UBC での授業料を優遇

UBC で学ぶ外国人留学生が納める 2 学期間の学費は、通常、文系学部で約 51,500 カナダドル（日本円で約 599 万円）です。しかし、このプログラムでは団体派遣のスケールメリットを活かし、授業料が大幅に優遇されています。

⑤ プログラム修了後最長で 1 年間留学期間を延長することができる

このプログラムは 2028 年 4 月に留学期間が終了しますが、希望者はその後最長 1 年間「学費相殺型の交換留学生」として UBC での留学を継続できるチャンスがあります（p.19 「サマー・2 年目派遣プログラム」）。

2 年目派遣生としての期間は、立命館大学の学費のみ納入し、UBC の授業料は納める必要はありません。

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (5/7)

10) カリキュラム

語学スコアに応じて、自分の英語力レベルに適した履修が可能です。現地では通常、UBC GATE-EDI のプログラム科目（主に立命館大学の学生向けの科目）を受講しますが、以下の表に記載のある語学要件を満たすことで、プログラム科目に替えて UBC 正規選択科目（UBC の学生とともに受講する科目）を履修することができます。

過去の参加学生が履修した UBC 正規選択科目は、留学終了報告書で確認できます。

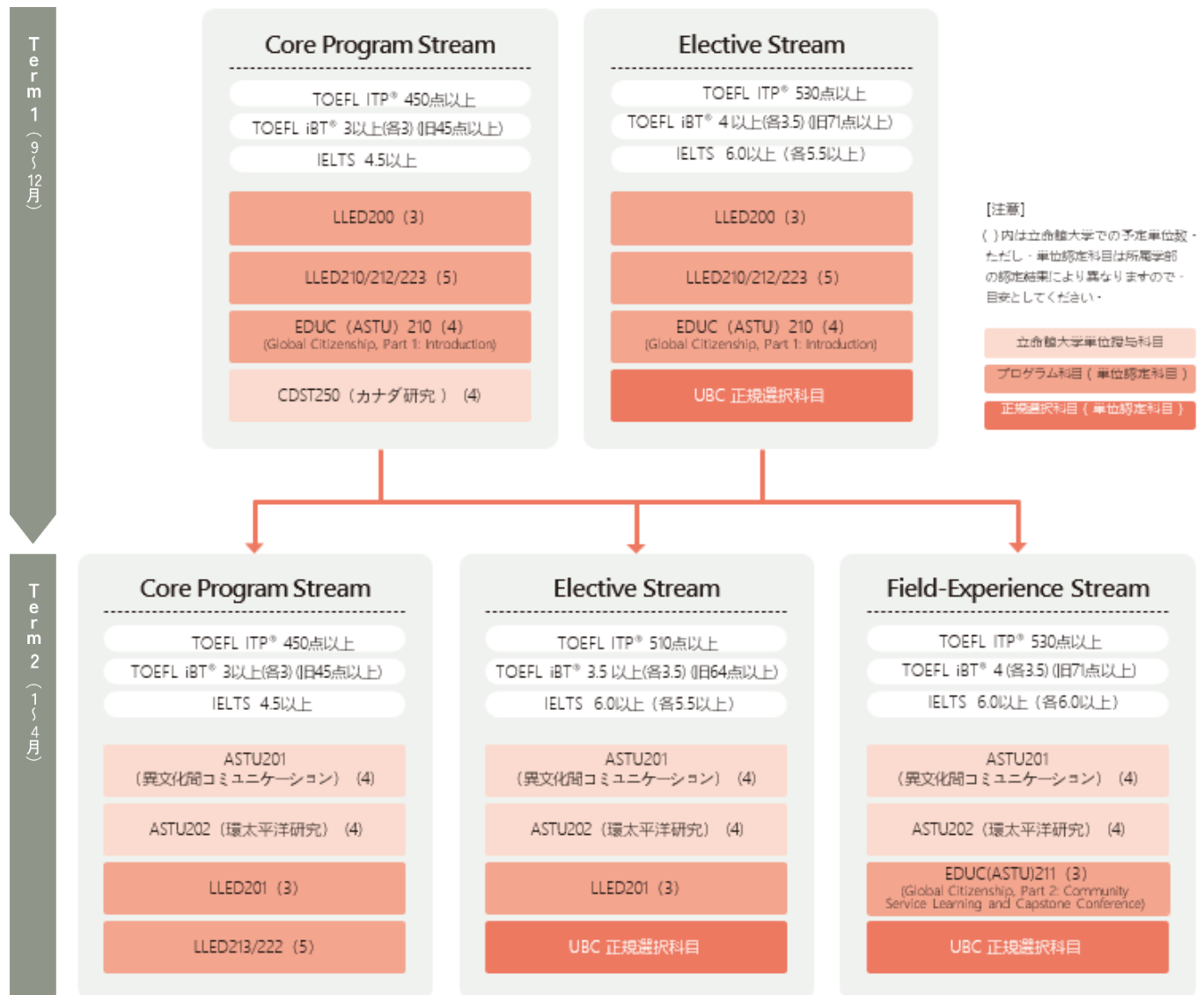
Term 1 から正規選択科目（1 科目）を受講する条件

2027 年 7 月時点（留学前）で、以下の表（Elective Stream）のいずれかのスコアを取得していること。

Term 2 から正規選択科目を受講する条件

2027 年 11 月時点（留学中）で、以下の表（Elective Stream または Field-Experience Stream）のいずれかのスコアを取得していること。

※留学中にプログラム参加学生向けの団体受験は実施されません。



正規選択科目の履修を目指す方は、英語力向上のため、語学試験の団体受験もぜひ活用してください。

[英語団体受験](#) | [外国語学習サポート](#) | [立命館大学 言語教育センター](#)

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (6/7)

11) 成績評価・単位取得

▶ 単位授与・単位認定について

- 留学最終学期（2028 年度春学期）受講登録上限外の科目として単位授与・認定されます。
- 情報理工学部生は単位認定について、応募前に情報理工学部事務室に相談してください。
- UBC 正規選択科目（単位認定科目）の単位を本学の単位とするためには、帰国後、学生本人による学部事務室（OIC は学びステーション）への単位認定申請が必要です。

▶ 単位授与：8 単位または 12 単位

以下の科目については、現地での評価を参考に、本学の基準に基づき、5 段階（A+、A、B、C、F）で評価のうえ、単位が授与されます。（下表は 2026 年度の単位授与科目を参考として記載しています。2027 年度参加者には、2028 年度春学期の単位として授与されます。）

UBC 受講時期	UBC 授業コード	立命館大学 授業コード	立命館大学の 授業科目名称	概要
Term 1	CDST250	10335	Area Study II	カナダの文化・社会・経済等、カナダが抱える重要な社会問題や論争について学ぶ
Term 2	ASTU201	10337	Global Study	異文化間の理解やコミュニケーションの手段、形態、歴史的変遷に関して、比較文化研究の観点から学ぶ
Term 2	ASTU202	10336	Area Study II	環太平洋地域における日本とカナダの役割を、この地域の地理的、歴史的、文化的、経済的特徴から考察する

▶ 単位認定：最大 20 単位（所属学部により異なります）

以下の科目については、現地での評価を参考に、所属学部教授会での審議を経て単位が認定されます。

- ◆ LLED（Language and Literacy Education）：

「英語で学び考える力」を養うことを目的に言語教育学科目を受講
- ◆ EDUC 210 Global Citizenship, Part I：

Global Citizenship の概念について、環境経済、社会など多様な角度から学ぶ
- ◆ EDUC 211 Global Citizenship, Part II：

少人数のフィールドワークやコミュニティ学修を通じ、学期末に総括的な考察を発表
- ◆ UBC 正規選択科目(Electives)：

現地 UBC オフィスの教職員の履修指導のもと、UBC の正規開講科目の一部から受講。

プログラム科目（主に立命館大学の学生だけで受講するもの）の一覧は以下から確認してください。

[UBCKamoku.pdf](#)

9. プログラム情報 – 立命館・UBC GATE-EDI (7/7)

12) サマー・2年目派遣プログラムについて

- ▶ このプログラムは、UBC GATE-EDI プログラム修了後、最長で 1 年間留学を延長することができるもので、交換留学プログラムの学費相殺型で実施されます。
- 募集は若干名で、参加にあたり「サマー・2年目派遣プログラム」応募時および UBC GATE-EDI プログラム修了時に、一定の成績基準等を満たす必要があります。最新の募集要項は渡航後に配布します。
- 派遣（延長）期間は、以下のいずれかを希望できます。

	UBC 開講期間	期間	学籍上の留学期間
1年目	UBC GATE-EDI プログラム	2027 年 8 月～2028 年 4 月	2027 年度秋学期 2028 年度春学期
サマー	+ Summer 2 か月間 (Summer Session)	2028 年 5 月～6 月	2027 年度秋学期 2028 年度春学期
	+ Summer 4 か月間 (Summer Session)	2028 年 5 月～8 月	2027 年度秋学期 2028 年度春学期
2年目	+ Term1 (交換留学 1 セメスター)	2028 年 9 月～12 月	2027 年度秋学期 2028 年度春・秋学期
	+ Term2 (交換留学 1 学年間)	2029 年 1 月～4 月	2027 年度秋学期 2028 年度春・秋学期 2029 年度春学期

- ▶ 過年度参加実績：
- 2024 年度：2 名（Summer 1 名、Summer+Term1 1 名）
- 2025 年度：2 名（Summer 1 名、Summer+Term1 1 名）

【注意事項】

- ※ 所属学部・履修状況によっては、2 年目派遣プログラムへ参加することにより、立命館大学の 4 年間での卒業が困難になる場合があります。応募を検討する場合は、履修計画について学部事務室（OIC は学びステーション）へ事前に相談してください。
- ※ 留学中に取得した単位が立命館大学の単位として認定されるのは留学が終了する学期末です。
- 例えば、UBC GATE-EDI プログラムに 2 回生で参加し、サマー・2 年目プログラム参加後の 4 回生の春学期に帰国する場合、4 回生春学期末に単位が認定されるまでは、取得単位数が卒業見込み証明書を発行できる要件を満たさない場合があります。

10. プログラム情報 – 立命館・アルバータ大学（1/3）

1) 応募要件（応募には、以下①②③すべてを満たしている必要があります。）

① 学部生であること

- ※ 情報理工学部生は 1 回生～4 回生のみ応募可
- ※ グローバル教養学部生は学部のカリキュラム上、参加不可

② 以下のいずれかの語学スコアを有していること

- IELTS 5.0 以上（各セクション 4.5 以上）
- TOEFL iBT 3 以上（各セクション 2.5 以上）
- TOEFL iBT 旧スコア 40 以上（各セクション 12 以上）
- Duolingo English Test 80 以上（各セクション 65 以上）

※ TOEFL-ITP®テスト、TOEIC®L&R テストなど、上記以外のテストスコアでは応募できません。

③ 本学の累積 GPA が 3.0 以上であること

<2026 年度秋入学者（9 月入学 1 回生）>

応募先の募集条件に GPA が求められているので、現 1 回生で応募し、合格した方は「仮合格」となります。
2026 年度秋学期の成績通知表を入手次第、速やかにコピーを国際教育センターに提出してください。
応募先の GPA 基準を満たしていれば、正式に派遣候補生になります。

2) 基本情報

▶ 留学先：アルバータ大学 / カナダ・エドモントン

▶ 渡航期間：2027 年 8 月下旬 ～ 2028 年 4 月下旬（約 8 ヶ月）

※ 学籍上の「留学」期間：2027 年度秋学期 および 2028 年度春学期

▶ 募集人数：約 15 名

▶ 渡航手続：カナダ「就学許可証」（Study Permit）を、ビザ申請代行専門会社を通して取得します。

※ パスポートは、少なくとも 2028 年 6 月上旬以降までの残存有効期間が必要（原則は帰国日まで）

▶ 留学形態：オープン型

※ 留学先大学が世界各国の留学生向けに一般募集しているプログラムに、立命館大学の派遣学生として参加します。原則として、日本国内外の留学生とともに語学レベルに応じたクラス編成が行われます。
また、留学期間後半では正規開講科目を最大 3 科目まで受講することができます。

▶ 滞在形態：学生寮（食事なし）

※ 以下の中から希望する寮を申し込むことができます。

[Housing | University of Alberta](#)

▶ 航空便：国内発着地からアルバータ大学最寄りのエドモントン国際空港まで各自で手配してください。

※ 往路は学生寮の入寮日、復路は試験終了日に合わせて手配してください。

10. プログラム情報 – 立命館・アルバータ大学（2/3）

3) プログラム概要

留学期間前半はアルバータ大学の IVSP（International Visiting Student Program）の EAP (English for Academic Purposes) の各コースで、北米の文化、社会に関するさまざまなトピックを学びながら、アカデミックな英語力の向上を目指します。

留学期間後半は、前半で培った英語力をベースにアルバータ大学の正規開講科目を履修（または聴講）します。EAP では、個々の語学レベルに合ったクラス編成が行われます。このクラスは他国からの留学生（日本人を含む）と混合で構成されます（EAP クラスのレベルによって構成するメンバーは異なります）。

4) 留学先大学・都市紹介

アルバータ大学は 1908 年に設立されたカナダ有数の研究大学です。THE 世界大学ランキング 2026 では世界 119 位（カナダ国内 5 位）にランクインしており、国際的に高い評価を得ています。さらに、THE インパクトランキング 2026 では世界 10 位（カナダ国内 2 位）に選ばれ、「産業・技術革新の基盤（SDG9）」では世界 1 位を獲得するなど、SDGs の推進にも積極的に取り組んでいます。

アルバータ大学のメインキャンパスがあるエドモントンは、アルバータ州の州都で、豊かな自然と都市機能が調和した暮らしやすい街です。冬は寒さが厳しいものの、生活環境が整っており、北米有数の規模を誇るショッピングモールもあるため、留学生も安心して生活できます。

5) カリキュラム

▶ 留学期間前半（9～12 月）

留学期間前半は、EAP(English for Academic Purposes)を受講します（本学単位授与科目）。

▶ 留学期間後半（1～4 月）

留学期間前半で EAP を修了した場合、アルバータ大学の正規開講科目を最大 3 科目まで受講することができます。受講許可は、希望するクラスの空き状況により、アルバータ大学が判断します。

留学期間後半は、最低でも 1 科目の正規科目の登録が必須です。なお、受講ではなく、聴講を希望することもできますが、聴講の場合は帰国後の単位認定申請はできません。

6) 成績評価・単位取得

▶ 単位授与：

現地大学での成績をもとに成績評価を行い、単位授与を行います（受講登録制限外）。

本プログラム単位授与数は 16 単位（2 単位×8 科目）です。

参考：2025 年度授業コード（2026 年度は開講なし）

16815, 16816, 16817, 16818, 16819, 16820, 16821, 16822, 16823, 16824, 16825, 16826,
16827, 16828, 16829, 16830

▶ 単位認定：

アルバータ大学正規開講科目は単位認定科目です。これを受講した場合、取得した単位を本学の単位として認定するために、帰国後に学生本人による単位認定申請が必要です。

※ 単位授与・単位認定ともに、留学最終学期（2028 年度春学期）に受講登録上限外の科目として授与・認定されます。

10. プログラム情報 – 立命館・アルバータ大学 (3/3)

7) 参加費用 (目安)

▶ 2026 年度参考 360 万円程度

内訳：約 100 万円 (立命館大学への納入) + 下記 8) 概算合計 (約 310 万円) – 50 万円

※ 参加者全員が原則受けられる本学支援 (p.23「11.奨学金」2027 年度以降の海外留学に係る奨学金) を差し引いた額です。

8) 参加費用内訳詳細

▶ 「立命館大学への納入」に含まれるもの

- ◆ 1 学期目 (EAP) の授業料
- ◆ 手続き関連費用 (共通の査証代行申請手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)
- ※ 渡航手続き費用は、日本国籍基準で本学手配にて代行手続き・支払いができる費用のみ含まれています。

▶ 参加費用 (目安) に記載の「その他費用」について

※ 「立命館大学への納入」の他に必要な費用例を、2026 年実績と現時点の想定レートで作成しました。
2027 年度の各費用、および支払い時のレートは未確定です。参考としてご確認ください。

2026 年度概算実績 & カナダ\$1= ¥116.94 の場合			カナダ\$(参考)	日本円(参考)
1	2 学期目の授業料 (正規科目 2 科目の場合)	※1	\$7846.56	¥917,576
2	寮費 (International House 8 ヶ月滞在の場合)	※2	\$12,364.00	¥1,445,846
3	アルバータ大学 諸経費		\$1,042.30	¥121,886
4	航空移動関連費用(燃油サーチャージ含む)	※3	-	¥480,000
5	日本で加入する指定海外旅行保険 (標準・8 ヶ月)		-	¥146,770
			概算合計	¥3,112,078

- ※ 1 受講する科目数によって金額が変わります。
- ※ 2 寮によって金額が多少変わります。
- ※ 3 航空会社や、経路によって金額が変わります。

【上記以外に発生する費用】

▶ 個人によって費用が異なるもの

- ◆ 現地での移動費、個人的な活動費用・飲食・日用品・生活雑貨・土産など

▶ 個人によって費用が発生する可能性があるもの

- ◆ パスポート取得・更新に関わる費用
- ◆ 個人精算が必要な諸手続き費用 (外国籍参加者を含め、個人での手続や支払いが必要な渡航手続き費用など)

注意 立命館大学の学費は、留学期間中も所定の期日までに納入する必要があります。

9) 参加費用の支払い時期について

▶ 参加費用は、2 回に分けて納入していただきます。計画的に準備をしてください。

1 次納付金 (申込金) 2 月中旬までに納入	▶	1 次納付金は、留学費用に充当されます。 300,000 円
2 次納付金 (参加費用残額) 確定費用算出後に納入案内を発信し、 7 月下旬に納入していただきます。	▶	留学に関わる費用から 1 次納付金を差し引いた額

11. 奨学金

立命館大学では、海外留学プログラム参加者に対し、経済的負担を軽減し、留学への挑戦を支援するための奨学金制度を設けています。

【重要】

2027 年度以降の海外留学に係る奨学金制度については、現在制度の見直しを進めています。この募集要項に記載している参加費用（目安）は、2026 年度制度をもとに作成した参考情報であり、2027 年度以降の支援内容・支給額・募集方法等については変更が生じる予定です。

1) 2027 年度以降の海外留学に係る奨学金（原則、参加者全員適用・申請不要）

この募集要項に掲載しているプログラムについては、原則、参加者全員適用・申請不要の奨学金が 50 万円程度支給される予定です。正確な金額等、制度の詳細については、決定次第募集要項を更新のうえ、改めてご案内します。

2) 日本学生支援機構＜JASSO＞海外留学支援制度（日本国籍の UBC 参加者のみ・希望者による応募）

大学を通じて応募する学外の奨学金で、JASSO が定める成績要件を満たし、学内選考に合格した場合に受給することができます。詳細は 2027 年 4 月頃に moodle+R よりご案内します。

採用されると、・月額 12 万円×8 か月

・渡航支援金 1 万円（家計基準を満たせば 16 万円）の両方を受給することができます。

※上記は 2026 年度採用者実績です。

※他の奨学金との併給の可否については募集要項をよく確認してください。

3) 立命館大学校友会「立命館・UBC GATE-EDI プログラム」グローバルリーダー育成支援金（国籍不問・UBC 1 次・2 次募集応募者のみ）

（下記記載内容は予定です。正式な情報は 9 月 16 日発行予定の募集要項を確認してください）

この制度は、世界トップクラスの大学等への海外留学を通じて、国際感覚や異文化適応能力を身につけ、将来、グローバルな事業活動等において、チャレンジ精神とリーダーシップを発揮し、自ら事業を創出し、若しくは牽引しようとする意欲を持つ学生に対し、立命館大学校友会の「校友会未来人材育成基金」より支援金を給付するものです。申請期間などの詳細は、募集要項（9 月 16 日より公開予定・QR コード）から確認してください。

【申請資格・条件】

立命館・UBC GATE-EDI プログラムの 1 次・2 次募集応募者で、募集要項の記載条件を満たす者

【給付金額】

1 名につき 150 万円（4 名程度） 給付のため返還不要です。

※他の奨学金との併給の可否については募集要項をよく確認してください。



4) その他 個人で応募する奨学金

大学に案内が届いている、個人で応募できる海外留学奨学金を下記に掲載しています。各自で直接応募してください。ただし、他の奨学金との併給ができない奨学金がありますのでご注意ください。

【個人で応募する奨学金について】 <https://global.support.ritsumeai.ac.jp/hc/ja/articles/20342649091219>

12. 学籍と履修についての留意事項

▶ 留学申請・終了の手続き

長期留学プログラムに参加すると、学籍が「在学」から「留学」に変更となり、事前に所属学部事務室（OIC は学びステーション）に相談する必要があります。事務室への事前相談や申請については、学び支援サイトを確認してください。また、帰国後すみやかに、帰国の申請を行ってください。

学び支援サイト：https://www.ritsumei.ac.jp/pathways-future/student_registry/study_abroad.html/

▶ 学籍上の「留学」期間

実際の留学期間に関わらず、学籍上の「留学」期間は、留学期間が許可された本学学期の期間になります。

◆ 春出発（春学期）： 4/1～9/25 ◆ 夏出発（秋学期）： 9/26～3/31

▶ 学籍「留学」期間中の履修

「留学」期間となる学期は、本学で開講される科目を受講する事は出来ません。留学期間中、基礎演習や必修科目、副専攻科目等の履修が出来ないことで、履修計画に影響が出る場合がありますので、事前に、所属学部事務室（OIC は学びステーション）と履修計画について必ず相談・確認のうえ応募をしてください。

※ 学籍が「留学」となる学期を含んだ「通年科目」を登録しても、単位取得は出来ません。

※ 「留学」期間となる学期は、「教職員過程科目」の履修が出来ません。また、教育実習や介護体験等を理由とする留学中の一時帰国は認められません。

※ 学籍が「留学」となる期間も卒業に必要な修業年限に算入され、制度上、標準修業年限内での卒業は可能です。

▶ 「単位授与」と「単位認定」

本要項掲載プログラムの履修は、本学開講科目（単位授与）と留学先大学開講科目（単位認定）で構成されています。

【 本学開講科目 】（単位授与）

◆ 現地での評価を参考に、本学の基準に基づき、5 段階（A+、A、B、C、F）または P（合格）・F（不合格）で、本学担当教員が評価し、単位を授与します。（留学の適用期間、最終学期にて単位授与を行います。）

※ なお、単位授与の手続きは国際教育センターが行うため、本人による申請は不要です。

※ 単位授与時期（2028 年春学期）に学籍状態が「在学」「留学」である必要があります。「休学」の場合は単位授与されません。

【 留学先大学開講科目 】（単位認定）

◆ 本人による帰国後の単位認定申請を受けて、所定の基準に基づいて所属学部教授会で審議し、承認されれば、本学の科目として単位認定します（留学の適用期間最終学期にて単位認定を行う）。

◆ 成績評価欄には「T」として記載されます。

◆ 在学中に他大学（海外の大学、編入元の大学、大学コンソーシアム京都等）で履修した単位の本学での認定は 60 単位を上限としており、留学プログラムで認定する単位もこれに含まれます。

◆ 正規科目以外の科目（ESL が提供する科目等）の単位は認定されません。

◆ 本学での所属課程と同課程以外の科目は単位認定されません。

※ 単位認定時期は、留学終了日を含む学期の末日となります。

13. 留学プログラム参加に関する承諾事項（1 / 3）

以下（3 枚）の記載事項を理解・遵守することが参加条件です。納得したうえで応募してください。

本書は、立命館大学（以下「本学」という。）国際教育センター主管「海外留学プログラム」（以下「プログラム」という。）に参加するにあたっての、注意事項、遵守すべき事項を記載しています。プログラムに参加するためには、本学の代表学生として派遣されることを自覚し、別紙「承諾書」に本人、および父母等が本書記載事項を承諾した旨の連署をして、提出する必要があります。プログラムへの応募は、本書記載の承諾事項を確認、承諾していることを前提としています。本書記載の承諾事項は、プログラムの募集要項にも掲載をしておりますので、承諾事項の理解不十分により生じた不利益（プログラム合格後の留学派遣資格取消を含みます。）は、すべて本人および父母等の責任となります。

なお、本書記載の承諾事項に違反した場合、または本学の判断により、留学派遣生としてふさわしくない行動をとったと認められる場合は、留学中断による途中帰国指示も含めて、留学派遣資格を取り消すことがあります。

1. プログラム参加手続の履行

- (1) 本学、および派遣先協定校より指示された必要書類の提出、及び Web 登録など留学のための諸手続きや、留学関連費用の納入、必要とされている本学学費の納入は、指定された期日までに行うこと。
- (2) 本学からプログラム参加条件として指定されたガイダンス、事前・事後講義などは正当な理由なく欠席しないこと。
- (3) 既往症、現在疾患、服薬の状況等、指示に従って健康状態を正確に申告し、申告内容に変更が生じた場合は、速やかに再度申告すること、また、参加プログラム出発年度の本学学内（定期）健康診断を必ず受診すること。
- (4) 本学が指定する海外旅行保険、および危機管理支援サービス（以下「海外旅行保険等」と総称する。）に、留学に係る出発から帰国までの期間加入すること。また、派遣先協定校から別途指定があった場合は、本学指定、および派遣先協定校が指定する、それぞれの海外旅行保険等に併せて加入すること。
- (5) パスポートや査証の取得、派遣先協定校に就学するための手続き、海外旅行保険等の加入、航空便や宿泊の手配、派遣先協定校、または協定校が所在する国・地域・自治体が指定する予防接種など、参加するプログラムに応じて、自身ですべき手続きを遅延なく行うこと。万一、それらの遅延によってプログラムへの参加が不可能となった場合や、追加費用が発生するなどの不利益が生じた場合は自己責任であること。
また、上記の各手続きにおいて、本学が指定する手配・取扱業者がある場合は、それらを利用すること。
- (6) 査証取得（発給）については、あくまで渡航国の大使館（または領事館）が判断するため、必ずしも出発までの発給が保証される訳では無く、査証取得が出来なかった場合の取消料や必要経費は申込者本人の負担となること。
- (7) プログラム準備期間、参加期間中、帰国後と、本学が指定する報告を遅滞なく行うこと。

2. プログラム参加に関する規律事項

- (1) 本学、および派遣先協定校の指示に従い、プログラムの目的と趣旨を理解して学習および研究に専念すること。
- (2) 派遣期間中は、日本の法令、本学の諸規則、ならびに派遣先協定校の諸規則および所在する国・地域の法令を遵守すること。（飲酒年齢等、派遣先と日本との法令基準が違う場合は、より厳しい法令基準に従うこと。）
- (3) 麻薬、向精神薬等、日本の法律または派遣先協定校が所在する国・地域・自治体の法律により違法とされる薬物、危険ドラッグ、銃等の所持、使用、購入および日本への持ち込みはしないこと。
- (4) プログラム参加中に、自動車、オートバイ、船舶、航空機等の運転、操縦および購入を行わないこと。
- (5) プログラム参加中に、ピッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、ボブスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等、本学が加入指定の海外旅行保険の補償対象外となる、危険な行為を行わないこと。
- (6) 団体で手配された航空便移動や、現地でのエクスカッションなど、必要な場面においてはグループリーダーや担当者の指示に従い、他の参加者と協力して団体行動をとること。
- (7) 派遣先協定校、もしくはそれ以外で入居した寮などの規則またはホームステイ先の規則に従い、生活すること。
- (8) 派遣先協定校での授業や活動の録音や録画、写真撮影などは、授業・活動における担当者の許可を得ること。

2026 年 1 月改定

13. 留学プログラム参加に関する承諾事項（2 / 3）

3. プログラム参加に関する諸条件

- (1) 留学派遣候補者の選抜は、派遣の保証ではなく、派遣先協定校の事情により受入が許可されない場合もあること。
- (2) 派遣渡航期間が、本学における講義・補講、定期試験、追試験等と重なった場合、特別な配慮は行われないこと。
- (3) プログラム参加中、緊急に医療手当または手術の必要が生じた場合、学生本人、および父母等の個別同意がなくとも、本学または派遣先協定校の担当者によって処置されることがあること。
- (4) 本学、または派遣先協定校により、往復路の航空便や宿泊施設、参加必須の現地プログラムなど指示されている場合はそれらを利用し、途中参加や途中離団は原則認められないこと。
- (5) プログラム終了後は速やかに帰国すること。本学の許可なく、個人的な理由によりプログラム終了後の滞在期間延長、またはプログラム中断による滞在期間の短縮をしないこと。
- (6) プログラム参加中に、旅行または外泊、一時帰国する場合は、指定の届出を期日までに本学に行い、本学または派遣先協定校から計画の変更や中止の指示があった場合は、それに従うこと。
- (7) 特段の事情が無い限り、渡航期間 3 か月未満のプログラムは、日本または母国への一時帰国・再入国が認められていないこと。
- (8) ホームステイでは1家庭、学生寮やホテルでは1部屋に他国、他大学を含め複数名の学生が滞在する場合があります、特段の事情が無い限り、設定人数や割り当てに関する個人的な要望は受け付けません。
- (9) 滞在形態がホームステイのプログラムにおいては、ホームステイという形態の趣旨や留意事項をよく確認し、参加者が均一のサービスを受けられる宿泊施設とは大きく異なることをよく理解して応募をすること。

4. プログラムの催行中止・参加辞退・途中帰国

- (1) 本学が正当と認める理由以外で、合格後の参加辞退はできないことを理解した上でプログラムへ応募すること。
- (2) 1. (1) (2) に抵触し、本学が留学派遣にふさわしくないと判断した場合、本人の参加意思にかかわらず、留学派遣資格を取り消す場合があること。
- (3) 定められた期日以降にプログラム参加を辞退する場合、本学により留学派遣資格取消や帰国措置を受けた場合、または、本学の責に帰さない事由によりやむを得ずプログラムを中止する場合は、途中帰国する場合を含めて、それまでの手続きに係る費用、取消や変更のために発生する費用、各関係機関が定める取消料・追加費用・外貨支払いのための送金、および為替手数料について、学生本人または父母等が負担すること。
- (4) プログラム費用からの差引を含め、本学から奨学金を受給する場合、当該奨学金の規程にもとづき、参加辞退や途中帰国、または留学派遣資格取消に伴い、給付奨学金の全部、または一部の返還を求められることがあること。
- (5) 医師による診断にもとづき、本学がプログラムの参加・継続が困難であると判断した場合の参加辞退、または、派遣中であってもプログラム中断による帰国措置の指示をすることがあり、それらには速やかに従うこと。
- (6) プログラムが定める教育上の目的が達成できず、留学プログラム参加の継続が困難であると本学、または派遣先協定校が判断した場合、帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (7) 本学は派遣者の生命・身体の安全を最優先し、本邦外務省による海外安全情報にもとづき、派遣先国・地域または都市に対して危険情報、および感染症危険情報レベル2以上が発令された場合、原則、派遣の中止を判断する。また、レベル1以下の場合でも、派遣者の安全確保、または学習の継続が保証できないと本学が判断した場合は、派遣の中止および早期の帰国を命ずることがあり、中止が判断された時点ですでに留学中の者は、本邦外務省や在外公館の勧告・命令および本学の指示に従い、安全を確保したうえで速やかに日本に帰国すること。

2026 年 1 月改定

13. 留学プログラム参加に関する承諾事項（3 / 3）

5. プログラム参加の責任

- (1) プログラム参加中に発生したトラブルについては、基本的に学生本人の責任において対処すること。
- (2) 学生本人が被った人的・物的損害または自己が派遣先協定校もしくは第三者に与えた人的・物的損害が、次の ①～⑥のいずれかにあたる場合、学生本人または父母等の責任において対処し、本学に損害賠償その他のいかなる責任も追及しないこと。
 - ① 自然災害、海難、火災、政府や公共団体の指令、戦争、暴動、ストライキ、盗難、隔離、テロリズム、ハイジャック、犯罪、航空・交通の事故、流行病、税関規則、交通機関の遅延・運休・計画変更、その他の不可抗力により生じた損害
 - ② 本学が管理しえない状況で起こった事件、または事故により生じた損害
 - ③ 学生本人の故意または過失、法令または公序良俗に反する行為により生じた損害
 - ④ プログラムの趣旨・目的から逸脱した学生本人の行為により生じた損害
 - ⑤ 学生本人の個人的問題から生じた損害、および学生本人が行った渡航に関する諸手続、手配等により生じた損害
 - ⑥ 4. (6)に記載される、本学で判断された派遣中止により生じた損害
- (3) 健康管理は自らの責任で行い、必要に応じて常備薬や主治医の紹介状等を現地に持参すること。

6. 個人情報取扱いに関する同意

- (1) 当該プログラムの応募、および参加するにあたって本学に提供された個人情報については、参加プログラムの運営や各手配、諸手続き、緊急時対応に利用する目的の範囲内において、プログラムに携わる派遣先協定校、事務業務受託会社、旅行会社、航空会社、査証取得代行会社、保険会社、保険代理店、危機管理支援サポート会社、外務省（危機管理支援サポート会社を通じての外務省の海外安全情報配信サービスへの登録）およびプログラム運営上必要な場合に限り、同プログラムの他の参加者へ提供されることに同意すること。
また、以下に該当する場合は、事前に本人の同意を得ることなく、第三者へ提供されること。
 - ① 法令に基づく場合、または法令事務の遂行にあたり必要な場合
 - ② 参加者の安全確保のために緊急性を伴い、事前に同意を得る事が困難な場合
- (2) 本学がプログラム運営のために、派遣先協定校等から成績情報、生活情報等の個人情報の提供を受けることや、派遣先協定校に成績情報・生活情報等の個人情報を提供することに同意すること。

7. 肖像権・著作権に関する同意

- (1) 本学の依頼により、留学プログラムの関係者、参加者から提供された写真・映像は、下記に定める目的・条件で使用している限り、肖像権・著作権・プライバシー権等の権利を行使しないこと。
 - 利用目的：
本学の国際活性化のために行われる広報活動、ウェブサイト（YouTube を含む動画サイト）やパンフレット、学内募集チラシなどの公式な広報媒体への掲載、学内広報活動時の映像投影
 - 利用条件：
 - ・ 提供者本人の申し出が無い限り、提供された写真・映像の使用期限はないこと。
 - ・ 提供者本人の承諾を得ることなく、写真・映像と併せて氏名等の情報が広報媒体に掲載されることはないこと。
 - ・ 広報媒体で使用された肖像に関して削除を希望される旨、撮影者または被撮影者から連絡があった場合は可能な限り速やかに対応するが、大量印刷された紙媒体の回収など、対応が困難な場合があること。
- (2) 参加者が本学へ提供する写真・映像については、自ら撮影したものであり、自身以外に写るプログラム参加者を含む人物に関しても、上記 7. (1)に記載の事項について了解を得ていること。
- (3) 自身が写りこんだ写真・映像が使用されることを望まない場合、撮影者へその旨と、本学への提供を控えるよう伝えるなど、明確に意思表示をすること。

以上

2026 年 1 月改定